

2026年3月5日

[配信枚数 2枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

〈大阪・関西万博関連〉 ロボットとの共生に関する研究成果報告会を開催

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に出展した「Robot Friendly プロジェクト」に滋賀大学の学生26人が参画しました。データサイエンス学部 太田智美講師（研究統括）と市川治教授の指導のもと、学生たちはアンケート調査、画像・音声解析、SNS分析など6つの研究チームに分かれて「ヒトとロボットの共生」に関する調査活動を実施し、データ分析や研究を継続してきました。

このたび、その成果を学生が発表する「ロボットとの共生に関する研究成果報告会」を、彦根キャンパスで開催します。

【ロボットとの共生に関する研究成果報告会】

日 時：2026年3月19日（木）13時00分～14時30分

会 場：滋賀大学彦根キャンパス

イニシアティブ棟1階 未来創生スクエア

（滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号）

※詳細は別紙プログラムの通り

◆取材に関するお願い

取材にお越しいただける場合は、3月18日（水）17時までに下記のお問い合わせ先までご連絡をいただけますと幸いです。

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学総務課企画・広報室

TEL：0749-27-7524 E-mail：koho@biwako.shiga-u.ac.jp

「ロボットとの共生に関する研究成果報告会」プログラム

13:00-13:10	開会の挨拶
13:10-13:20	Robot Friendlyな社会に向けての活動（研究統括チーム）
内容	大阪・関西万博で創り上げた「ロボットと暮らす社会」に関する取り組みを報告。
13:20-13:30	データで読み解くヒトとロボットの関係性（アンケート分析チーム）
内容	ロボットとの共生に関するアンケートを実施し、回答を集計・解析。
13:30-13:40	画像解析によるロボットに対する来場者の物理的距離の定量化（画像解析チーム）
内容	画像解析を用いてロボットと来場者の間にある距離を測定し、来場者の表情や年齢などを推定し、それを用いて層別の分析を実施。
13:40-13:50	人は、ロボットの前で何を話すか（音声分析チーム）
内容	ブース内で収録した録音データを用いて、テキスト分析を実施。
13:50-14:00	ロボットが見た人間の顔の分析（ロボットチーム）
内容	ロボットは考えた。「僕たちに笑ってくれるのはどんな人だろう。僕たちに近づいてくれるのはどんな人だろう」
14:00-14:10	ロボットとの共生に必要なルールとは ～「ロボット工学3原則」から75年経った今、その形はどう変わったか～ （SNSチーム）
内容	ロボットの行動規範を示すSF作家アイザック・アシモフの「ロボット工学3原則」を約75年ぶりに改新した「新ロボット3原則」を発表。 万博来場者・SNSの意見をもとに変化した新たな3原則とは？
14:10-14:20	質疑応答
14:20-14:30	デモンストレーション